

# ☆☆ シクラメンの管理方法☆☆



信州大学農学部附属農場

## 1. 置き場所・・・暖かで日光のよく当たる窓ぎわが最適。気温の上がり過ぎに注意。

- 1) 昼間の気温は25℃以下、夜間は10℃以上が望ましい。夜温が2～3℃以下になると凍害を受けるので、寒い日はダンボール箱をかぶせるなどして保温する。
- 2) 湿度は50～60%が望ましい。温風ヒーターやストーブの近くは乾燥しすぎるのでよくない。浴室は湿度が高すぎる。

## 2. 庭面給水鉢の水やり

常に受け皿の水をきらさないように補給する。もし乾いてしまったら受け皿へ給水するほか、球根に水をかけないようにしながら土の部分にもかける。

## 3. 肥料・・・鉢には十分に肥料が入っているので、すぐ施す必要はない。

1月末ころから、次のいずれかの方法で肥料を施す。

- 1) 10日に1回位、ハイポネックスなどの液体肥料を1000倍に薄めて灌水する。
- 2) 錠剤タイプの置き肥なら2か月に1回が目安。施す量は普通の鉢花の半量程度にする。

## 4. 枯れ葉などの摘みとり

- 1) 咲き終わった花や枯れた葉は株元からこまめに抜く。
- 2) 葉の表面の汚れやホコリは柔らかい布で拭き取るか、軽く水洗いする。

## 5. 来年も咲かせるには・・・夏越しがポイント

- 1) 休眠させないで咲かせる方法：5月までは日当りの良い所におき、その後は半日陰に移す。枯れ葉などをこまめに取り、10日おき位に殺菌剤を散布する。灌水は毎日行い、液体肥料の1000倍液を月に1回ほど与えるのが望ましい。
- 2) 休眠させて咲かせる方法：花が終わったら灌水を少しずつ減らす。すると葉や茎が枯れて球根は休眠に入るので鉢のまま涼しい所に移す。  
8月末ころになったら枯れ葉や茎を全部取り除き灌水を始める。
- 3) 植え替え：上記のいずれの場合も気温が20℃以下になったら、ひとまわり大きな鉢に植え替える。これに用いる土は赤玉土を2、腐葉土を1の割合で混合して作り、完全に消毒する。家庭で消毒するには、電子レンジで3～4分間加熱するか、蒸し器で30分位蒸せばよい。この後、元肥として化学肥料を土1リットル当たり5～6g混合する。